

日見の風



令和4年7月1日発行
文責：校長 三浦輝之

日見小学校学校目標：「豊かな心を持ち、自ら求めて学ぶ意欲と実践力のある
健康でたくましい日見っ子の育成」

〈めざす子ども像〉

ひ：ひとみ輝く元気な子
みっ：自ら学ぶ子
こ：心豊かな子

**夢やあこがれに向かって
伸びよ日見っ子！**

7月を迎えて ～1学期のまとめと振り返りを行い、次につなげます～



早いもので、1学期の最終月を迎えることになりました。コロナ感染のリスクを抱え、感染予防に取り組む生活はまだまだ続いたままです。長崎市内の感染状況も下げ止まりの状態が続き、再び増加傾向かと思わせるような感染状況です。文部科学省が発出している「学校の新しい生活様式」についても、長崎市は「対応レベル1」の対応のままでありますが、今後も油断できません。熱中症予防のために、マスクを外す場面も設けながら、気持ちを引き締めて感染予防対策を行っていきますので、御理解・御協力をお願いいたします。

さて、6月16日から水泳学習が始まり、子どもたちは水しぶきを上げながら楽しく元気に取り組んでいます。今年度は、昨年度の経験を生かし、感染防止対策を講じながら実施することが可能となりました。限られた時間の中で、いつもと違う方法も取り入れながら、水に親しみ、泳力を伸ばすことができるよう計画的に指導を行っていきます。

6月20日（月）から実施した「長崎っ子の心を見つめる教育週間」には、多くの方々に御来校いただき、誠にありがとうございました。土曜授業が実施できなかったことは誠に残念ですが、日常の学校生活の様子を参観していただく機会となり、子どもたちも職員も励みとなりました。7月25日（月）から7月29日（金）は保護者の個別面談を実施いたします。教育週間の様子も含め、子どもたちの1学期の様子をはじめ、成果と課題についても語り合い、共有できる機会となることを願っています。

例年よりも15日も早く梅雨が明け、もうしばらくすると、子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。1学期も残り2週間あまりとなりましたが、4か月間を振り返ることにより、自分の成長を自覚するとともに、学習や生活のまとめがしっかりとできるように指導していきます。今月も本校の教育活動への変わらぬ御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

7月の行事予定

1日（金）	日見小学校区子どもを守るネットワーク100人アピール（17：30～日見公園）	14日（木）	夏の交通安全運動（～20日） 委員会活動 フッ化物洗口 アフタースクール
4日（月）	特別日課開始（～7/19）	17日（日）	家庭の日 八郎川慰霊の灯プロジェクト
6日（水）	縦割り活動（折りペンギン作り）	18日（月）	海の日
7日（木）	午前5時間授業・給食後下校 アフタースクール	20日（水）	第1学期終業式 交通安全の日
8日（金）	日見小ファミリープログラム19:00～	21日（木）	夏季休業（夏休み）～8月31日
12日（火）	修学旅行説明会（6年）15:30～	25日（月）	個人面談～29日（金）
13日（水）	川探検（2年）2・3・4校時	登校日 8月9日（火）、8月19日（金） 第2学期始業式 9月1日（木）	

プール掃除 ～リーダーとしての役割・責任、そして成長～



6月6日(月)に6年生がプール掃除を行いました。この時期恒例の活動で、どの学校でも最高学年である6年生の役割です。当日は、晴天に恵まれ、楽しみながらきれいに仕上げてくれました。5月に開催できた運動会でも最高学年としての活躍を見せてくれた6年生。今回のプール掃除も、最高学年としての役割や責任を実感できる活動でもありました。このような活動を通して、最高学年としての自覚を高め、たくましく、心豊かに成長してくれることを願っています。そして、6年生の頑張りが学校全体の雰囲気をもっとよく変えるのです。

被爆体験講話 ～山脇 佳朗さんをお迎えして、平和のバトンを受け取りました～



6月24日(金)には、「被爆体験講話」を拝聴しました。講師は、山脇 佳朗さん(晴海台在住)でした。11歳のときに、爆心地から2.2kmの御自宅で被爆されたそうです。翌日になっても帰らないお父様を工場まで迎えに行った道程で、見るに堪えない、地獄のような恐ろしい被爆の現状を目の当たりにされたとのこと。お父様もお亡くなりになっておられたそうで、翌日に自分たちでお父様を火葬したことなど、思い出だけでも辛い過去の体験をたくさん話してくださいました。講話の後には、子どもたちからの質問にも丁寧に答えてくださり、学習がさらに深まりました。子どもたちも約60分間、真剣に耳を傾けながら考えていました。聴くだけでは、平和の実現には貢献できません。今回の学びをどう受け止め、だれに、どのように発信していくかが今後求められています。平和な世界を築くために、自分には何ができるのか、何をしなければならないのかを考え、実行できる日見っ子に育ててくれることを期待します。

日見未来会議に参加しました ～10年後、20年後の日見の町をみんなで考える～



現在、日見地区では、まちの未来を描いた「まちづくり計画」の策定が進められており、計画に必要なアイデアを集める場として、「日見未来会議」が3回開催されてきました。今回は、6月26日(日)の第3回目が開催され、日見小学校からも5年生・6年生の10名が参加してくれました。



「日見の町のいいところ・心配なところ」、「自分たちに何ができるか」などをグループに分かれて意欲的に話し合い、地域のみなさんの前で堂々と発表することができました。自分たちが生活しているまちを見つめることで、「ふるさと愛」につながることを信じます。

「ココロねっこ運動強調月間」 ～子どもたちのこころのねっこを育てるための県民運動～



内閣府では、昭和54年以来、毎年7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、青少年の非行・被害防止対策の推進を呼び掛けており、それにあわせて本県でも7月を「ココロねっこ運動強調月間」と位置付けております。期間は、令和4年7月1日(金)～7月31日(日)までの1か月間です。

家庭・学校・地域社会・行政が一体となり青少年の健全育成と環境浄化を目的とした「ココロねっこ運動」への御理解と各家庭・地域での実践に御協力をお願いします。

